

平成23年度川崎区区民会議第6回環境部会

日 時：平成24年2月7日（月）18時40分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第3会議室

出席者（敬称略）

（1）委員 3人

木島千栄、藤岡玲子、鷺頭多加志

1 開会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

■議題

1. 第3期川崎区区民会議最終報告書(案)について

（木島部会長）

環境部会としては、最後になります。今まで、2年間審議を重ねていた内容が、最後を迎えることになって、報告書としてまとめるところにきました。資料を確認して頂きながら、審議を重ねていきたいと思います。

環境部会としては、資料3の中の3.環境部会の内容が、報告書としてまとめられる内容になります。これをご覧いただきながら付け加えることがあれば、加えていきたいと思います。

（金子課長）

資料1をまずご覧ください。区民会議の最終報告書の骨子（案）がございまして、中間報告の時にこういう形で作っています。第1章の中で、地域課題の把握の方法とか、区民会議とはこういうもので、こういう検討をしてきましたとまず提示して、その後各部会の調査審議の結果を第2章の方に載せていく。第2章の方も最初の部分でまとめの方を提言（解決を図るための方策）として区民会議として考えています。その後に各専門部会による審議内容を部会ごとに載せていく。最後の方には、資料編として第3期の区民会議の開催日程とフォーラムを行った報告。1期・2期の区民会議で提案されて、その後も事業としてやっているもののまとめを載せます。目次についても骨子に基づいた目次になっています。

今日、確認して頂くのは、資料3の提言の部分。提言の部分は、区民会議の部会が提言するわけではなくて、区民会議全体として、こういう視点でこういう提案をしていますよということふれている。「3.環境意識の高まりによる地域緑化の促進に向けて」というところで、環境部会で準備してきたポスター作成継続・拡充と「区の花」「区の木」についてここでふれる。ここについて、ご意見を頂ければと思います。その後が、各専門部会による審議内容が載っています。環境部会は、字ばかりで、さみしいねと部会長とも話していました。

提言の部分と3環境部会についての校正についてこういった形でまとめていけばよいか。いろんなご意見を頂きながら報告書を作りたいと思います。

(木島部会長)

資料をご覧になって頂いて、3環境部会のP1めなのですが、例えば、「区民の環境意識向上のための啓発（22.7%）」というようにパーセンテージが出ていますが、棒グラフとか折れ線グラフが入った方がいいのではないかと。驚頭委員どうですか。

(驚頭委員)

他の部会とのバランスを考えると入った方が良いでしょう。

(木島部会長)

高齢者部会さんの方は、だいぶデータが沢山入っていますね。

(金子課長)

アンケートとかのデータを根拠としている。

(驚頭委員)

テーマが地図とかを入れやすい。

(木島部会長)

最初の部分に数値的なものがあるので、グラフ化して入れると見やすいのではないのでしょうか。

(驚頭委員)

ポスターの参加校は、具体的に書かないのですか。3校とか7校とかになっていますが。

(木島部会長)

具体的に小学校の名前をあげるのは、問題がありますか。

(勝野課長補佐)

大丈夫だと思います。

(木島部会長)

あと何か、ございますか。子ども部会さんの方も文字が多いですね。

(金子課長)

子ども部会も明日部会があるので、そこで変わってくる可能性があります。審議内容の中で、確かにこういう意見が出たけれど、ここまで書かなくてもいいのではというものや、言ったのに載っていないというものがあれば教えてください。

(鷺頭委員)

区の花のイラスト化は、まだですよ。

(勝野課長補佐)

今やっているところですね。最終報告の段階では、3月なので、「区の花」のデザイン自体が3月の下旬には、決定がとれるので。報告書には、ぎりぎり難しいかもしれないですね。

(藤岡委員)

字が多いというか、見開きで文字ばかりですね。

(勝野課長補佐)

今回報告書が分厚い冊子状のものになるのですが、例年冊子状のものを何百冊と作っている。それだと区民の皆さんに見てといてもページ数が多くて見て貰えない。分厚い報告書の他に概要版でA4版の見開きで、8ページ想定ぐらいのオリジナルなものを作ればと思っています。そこには、ポイントでイラストとか、表だとか主体で、作る準備は、検討しています。

(金子課長)

ただ、これ以上のものは無いので、ここからピックアップしてということです。ここに載っていないものは、そこには、載せられません。圧縮して、伝えたいことを中心に。1期とかでは、審議結果が表になっていたりとか。2期は、かなりカラー刷りですが、字が多いです。取り組んできた事については、結果がのこるので、写真が入る。あとは、工夫して、吹き出しみたいな形にするとか。表にする方がすっきりまとまったりします。

(藤岡委員)

「区の花」及び「区の木」の活用についてというところで、意見がずうっと続きますが、ここで言いたいのは、○なんちゃらという部分にアンダーラインを引くとか、ここだけ表にくくったらどうか。吹き出しにすると字を小さくすることになるので、字が小さいのは、読みづらいと思います。

(金子課長)

前回だした、文字のポイント数よりも大きくしています。実際拾おうとしているところをアンダーラインとか引きますか。

(藤岡委員)

そこだけでも見てくださいとした方が良くと思います。

(木島部会長)

まとめのところや川崎区の取り組みとか、ポスターコンクールの写真が入っている部分は、良いと思います。

(藤岡委員)

この2年間でこれだけのことをやったというのがいいですよ。

(コンサルタント)

見やすさからいったら、段落を貼りつけないとか、矢印のところと○が同じ位置にあるのでみづらいと思います。矢印を1字下げ、さらにひし形もぶら下げにするとさらに見やすくなると思います。

(事務局)

それぞれのセクションをばらばらに作っているの、最終的には、今おっしゃられたところは、全て直して、見やすさ的には整えていきます。

(金子課長)

例えばですが、■応募作品の効果的な活用についての中で、ポストカードとして配布するとか、既にやっているものも含まれているので、何を拡充するのかという視点で取り上げてもいいのかもしれない。

(木島部会長)

この文章の中で重複しているものとかありますか。

(藤岡委員)

■参加校・参加者を増やす方策についてのところで、平成23年度で実現できたもの（大型商業施設等での展示とポスターコンクールの表彰式）と継続課題と新たにというものを分けて書いてもいいのではないかと。課長がおっしゃるように一文審議しつつ平成23年度で実現できましたというのを注釈的に入れて分ければいいのか。そうすれば、メリハリも出来ると思います。

(金子課長)

実際に審議の途中ですが、すごくいい意見を取り入れて、23年度に一部実施。

(鷺頭委員)

こういう取り組みをして、これは、実現しましたみたいに実現できたことを目立つようにしたい。コンクールも「区の花」「区の木」

(金子課長)

「区の花」「区の木」は、途中で提言を頂いた。審議しながら実現に向けて動いているものが多い。

(藤岡委員)

継続課題として、参加校を増やしましょう。さらに応募意識が高まる方法を考えましょう。掲示板への掲示の継続は言われてきて、更に拡大。審議の途中で実現できたのが、大型商業施設の展示と表彰式の統一。新しく出てきた方向性というのが、幅広い人が参加出来る様な方策の3つに分けてもいいのかもしれない。

(金子課長)

この中で、この部分は、継続してやってもらいたい、23年度もそのとおりで、この部分は、拡充してもらいたい。一つには、23年度に取り組んでしまったもの。23年度に取り組めなかったけど、今後考えていきたいものです。

(鷺頭委員)

「区の花」の選考委員会でプロジェクターを使って、先生が説明してくれた時の写真を載せたらどうですか。

(勝野課長補佐)

先生が作ったものを勝手に使えないです

(木島部会長)

まとめの部分は、どうですか。

(勝野課長補佐)

前回、1と2については、事実関係を中心に書いているとお話をさせてもらって、体裁については、子ども部会が明日で金曜日に高齢者部会があるので、いろんな意見が出てくるので、

総合的に考えて体裁を直す。まとめの部分については、こんな感じで良いのか見て頂ければと思います。

(木島部会長)

キャラクターとか、ロゴという話もあがっていましたが、こういったものを活用するという提案もあったと思うのですがまとめの部分に入っていないですね。

(勝野課長補佐)

まとめではなくて、「区の花」「区の木」の活用についての中にあります。

(鷺頭委員)

ロゴをベルマークみたいにして、商店街のお店屋さんをお願いして、商品が売れたら一枚ずつあげて、何枚たまったら何々と交換みたいにする。わざわざ、キャラクターを見るとか知りたいとは、思わないのではないかな。

(木島部会長)

まとめの部分にも例えばキャラクターデザインを有効活用するという形で、入れてもらった方がありがたいのか。

(金子課長)

キャラクターとなるとちょっとイラスト化したものをというのがまとめの一番最後の行にあるので。イラスト化というのが、事務局の方では、ロゴと捉えていて、封筒とか名刺とかに活用する。

(藤岡委員)

イラスト化したものというのか、シンボルマークというのか、どちらかに統一した方が良いのではないかな。

(金子課長)

「区の花」「区の木」をイラスト化したものがシンボルマークなのか。イラスト化したものとシンボルマークが違うものなのかということですね。ロゴといたり、シンボルマークといたり、イラスト化といたりしているものを同じものなので統一しないとおかしいですね。

(藤岡委員)

前のページのところに「区の花」「区の木」のキャラクターデザインを小学生から募集すると出てしまっているのに、まとめの中には、特にそれを入れていないということですね。

(金子課長)

シンボルマークとキャラクターデザインは、全然違うものだし、ロゴを決めた後に小学生からキャラクターデザインを募集するかどうか。いくつもマークがあってもどうか。

(勝野課長補佐)

2月20日過ぎまでは、微修正が出来ますので、何かあったらご意見頂ければと思います。今週3部会あるので、終わった後に細かい体裁を整えたものをもう一度送って、見て貰います。

訂正以外の確認なのですが、ポスターコンクールの参加校の名前を入れることと、シンボルマークとかロゴやキャラクターデザインの表現方法を統一する。

(鷲頭委員)

最初にグラフを入れる。

(事務局)

アンケートのグラフについてですが、3部会とも同じアンケートなので、他の部会も同じように統一する。

(金子課長)

提言の部分は、審議の最後のまとめをさらに大きくくりにした感じで。

(勝野課長補佐)

1 ページ目から提言が始まっていて、高齢者部会・子ども部会・環境部会がくるイメージですが、区民会議の形での提案をイメージしているものですから、部会名があまり出てこないで、表題としては、1 高齢者が安全安心に外出できる環境整備のために2 地域全体で子育てを応援する環境づくりに向けて3 環境意識の高まりによる地域緑化の促進に向けてというタイトルを新たに事務局の方で入れています。このタイトル見出しでいいのかということと、その下に(1) (2)と提言内容が入ってくるので、これについて今日の部会が始まる前に課長と部会長の間で話があって、もう少し提言の表現に換えた方がいいだろうということになりました。

提言だけだとあまりにも中味が載らない部分があるので、それらしい言葉を一段落ずつ見出しの下に入っているのですが、これがボリュームがありすぎると提言内容が見えないでし

ようし、かといって提言だけではと思うので、何かご意見があればお聞きしたいし、いただいたご意見を元に修正をしようと思います。

(金子課長)

今一度、目を通して頂いて、ご意見をいただけるとありがたいです。

(藤岡委員)

難しいですね。まとめのところは、どうしても知ってもらいましょうになってしまうのですが、もう3期めで、知ってもらおう知ってもらおうばかりではどうかと思います。

(金子課長)

知ってもらう為にこういうふうにしたい。

(藤岡委員)

せっかく方策を立てて、実現したものもあって、さらにはずみをつけていきたいというところが、まとめの文章で出せないかなと思います。

(金子課長)

何かの拍子に思い浮かぶかもしれないので、すかさず思いついたら連絡してください。

(藤岡委員)

キーワードみたいなものでもいいわけですよ。

(勝野課長補佐)

ここに書いてあるとおり、提言と解決を図る為の方策を中心に置いていきますので、キーワードで頂ければと思います。

(金子課長)

これが大事だけれど、提言ではないので。せっかく区民会議で委員さんを担った方達が、退任されると急に関わりが無くなってしまふのがもったいないなという話もあって、提案した課題解決策に積極的に関わっていけるような仕組みがあってもいいのかなと思います。ネットワークとよくおっしゃるじゃないですか、そういうものがきちんと整っていれば、必要ないのかもしれませんが。団体から出ている人は、団体に戻って、その中で取り組めるものもあるのですが、別のステージに渡してしまふと、関われなくなってしまう。その辺、いいご意見がありませんか。委員をやめると関わりたいけれど関われなくなってしまう。

(藤岡委員)

その点は、わたくしも前から気にしているところでもあり、これから相談しましょうとおっしゃってくださっていますが、「区の花」「区の木」の選定委員会の中には、川崎区民ではない人にもメンバーに入って頂いていましたが、少なくとも川崎区から出ているメンバーの人達だけでも今後つながっていく何か区の定例イベントでここでは、必ず会おうねとなにかしらん、準備があるよねという所で、2~3ヶ月準備会をして、毎年積み上げていけて、そこから発生する何かがあれば、自分達で出来ることがあればやりたいと思っていまして。区民会議の方は、その期ごとに部会の内容・審議テーマが全く違うので、なおのこと2期ではこんなことをやって、区役所がこういうものを立ち上げてくれた、3期ではこれが立ち上がるよというところをみんなに報告して終わってしまうのではなくて、ただそこにそんなにエネルギーを使えないよという問題が大きいと思うので。年に2回ぐらいは、なにか集まるきっかけというのを決めておくのがよいのか。「区の花」「区の木」をおひろめする時には、いてほしいですね。

(金子課長)

「区の花」「区の木」を通じたネットワークみたいなものが必要だと思いますが。

(藤岡委員)

環境ポスターも平成24年度もやったね、このポスターをみんなで持ち帰って、掲示板だけでなく、ゴミの集積所とか、自分達の力で貼れるところに貼ろう。

(金子課長)

区民会議の委員としてやるのではなく、区民会議に関わった人として、川崎区の事業に参画していきたいみたいな人が、いられる居場所があるといいのかなと感じています。行政が事務局ではなく、自主的に運営できるような仕組みができるといいなと思います。

(木島部会長)

大体、内容については、宜しいですか。

2. その他

(藤岡委員)

2年間頑張った成果を沢山の方に知ってもらいたいということと、区民会議自体を知ってもらいたいという話が出てまして、その辺で自分が関わっているイベントでPR出来ないかなということで、「エコ・フェスタ2012」というイベントが、3月10日の土曜日に武蔵小杉駅から歩いてすぐの総合自治会館で開催されます。そのイベントの内容は、チラシにも書いてありますが、詳しく書いてきました。

1. 川崎市地域環境リーダー育成講座というのが、市役所の環境局の仕切りで行われていて、わたくしは、10数年前にこれを受講して、4期生です。去年2011年5月～11月に第14期が受講して、240名を越える方々が、川崎市地域環境リーダーという名前を頂いて、それぞれの地域で活動しています。川崎市にかかわらず、地球環境問題のくくりの話も聞いて、最終的には、各地域でみんながどんなことが出来るのかということグループワークで、自分達で課題を設定して、研究して、自分のテーマを見つけることをこの講座の最終目的にしています。240名を超えるメンバーが自主的に手をつないで、何か出来ることが無いか模索をしたり、新しい人が入ってくれるといいねという意味合いで、エコフェスタというイベントを毎年2・3月頃に開いています。これを2005年からやっているもので、今回2012年は、8回目になります。最初は、他の期の人と知り合いたいとか、同じ期のひとでも川崎市は、南北に長いので、多摩区の人と会う機会が無くなってしまったとか、再開の場を作ろうとか、いろんな意味合いで、年に1回集まる場として活用しています。4回目・5回目と会を重ねていった時点では、一般の人に呼びかけるイベントが出来るといいねということで、かなり頑張った時期もあったのですが、講座の修了者が240人という事で、増えていたので、そのつながりをもう少し見直して、つながりを濃くしようということ今回焦点にあてています。そういうことをするにあたって、とくにどこの団体も入らず、家庭では頑張っているのだけれど、他の人どうしているんだろうというように会わなくなってしまった人を減らしたいという想いで今回開催することにしました。多くの方が団体に所属しているので、パネルの展示のコーナーを設けますよと言った時にここに書いてある団体が展示予定です。中には、団体に入っていないけれど家庭ごみをこういうふう処理していますとか、自分の地域の大气汚染の測定値を発表させてくださいとか個人の方もいます。それが、このエコ・フェスタの特徴です。団体だけではなく、個人もOKで、同じ様な事をやっている人と語り合えようというような場になっています。市民健康の森・海風の森しか書いてありませんが、他にも里山づくりの会や他にもいくつか出てくると思います。立派なパネルを持っているところもあるのですが、個人の方々は、模造紙にグラフとか地域の写真を貼ったり、ゴミ処理こんな風になっていますというイラスト描いたりもいまして、それをまねて、区民会議というのが一度も出たことが無いので、個人で活動している方や地域で活動していえる方に区民会議という提案の場があるんですよということをPRするには、いいのかなというふうに思いました。特に環境部会、この2年間の報告書にあるようなポスターのものと区の木・区の花でまとめたものが1ページずつあって、写真も出せるものがあるので、非常に見栄えがする内容だという事も有り、ぜひPRしたいと考えました。立派なパネルを作るよりも模造紙に素材を貼りつけるだけでも非常にきれいなが出来るかなというふうに思いますので、それをする事によって、まず区民会議を知ってもらおう。川崎区は今何をやっているか知らない人に知ってもらおう。最終的には、区の花・区の木をより発展させていくアイデアがあれば、もらいたいし、今後協力してくれるという人がいれば、募りたいという気持ちもありまして、そういったPRが出来るとはならないかというご提案です。講座修了者全員が集まる事にはなりません、去年・おとしですと70～100人ちょっときぐらい。PR効果は、それなりにあると思います。7

つの区全部から人が集まるので、中には、区民会議の委員だったことがある人とか、環境部会を立ち上げたという人とかも何人かいらっしゃるのでは、そういう人達は、応援団になってくれると思いますから。こんなものを出しますというのには、皆さんの承認もいりますので、出来上がったならこういう風に出しますというのを写真に撮って、メールで送ります。パネル出展してみませんかというご提案ですがいかがですか。

(木島部会長)

この中で、持続可能な地域交通を考える会の代表が、高津区の区民会議委員です。パネルそのものは出してもいいのではないかと。区民会議の環境部会としてのパネル展示ということになりますので、他の部会にも声を掛けないといけないかと思いますが。

(金子課長)

区民会議として出すなら、正・副部会長にお断りをして、エコ・フェスタなので、環境部会だけ特化して出したいとするのか。区民会議をPRするのは、悪い事ではないので。市長の審議会の一部会なので。確認は、必要かなと思います。環境部会として出すときに、藤岡さんだけがやるのでは違うかなと思います。区役所として、こういうのが欲しいというのは、提供できると思います。これは、環境局のどこが主催ですか。

(藤岡委員)

総務部環境調整課です。

(木島部会長)

ちなみに国際環境技術展にブースに出展いたします。2月10・11日です。他の区も区民会議をやっている、他の区は出さないのですか。

(藤岡委員)

それを啓発しようという意味も含めてですね。ここにも区民会議、環境関係があればお互いに出てきましょうよというように先陣を切る形。他にも区民会議の人達がいるのにここには、市民団体ばかりもってきているので。

(金子課長)

区民会議の取り組みとして特化するとそういう調整が必要になってくる。区民会議発案で、こういう取り組みが提案されて、こういう形でこういう団体が活動していますというのが、理想だと思います。

(藤岡委員)

今後はどうなのというところでの楽しみというかアプローチを含めて。又、紹介しつつ、他の区でも区民会議をやっていますよねとか、こういう取り組みしていますよねみたいな話が出来ると良いと思います。

環境局がやっている地域環境リーダー育成講座も最後は、グループワークをやりながら、グループワークが残って活動団体になっている所は、1つもない。同じ課題を抱えていて、気が付いたらばらばらになっています。仕掛けるという意味あいでの出展でもあります。

(木島部会長)

環境部会としては、そういうところに出展するのは悪いことではないと思います。うえの方や他の部会の承認を得るとかした方がいいと思います。

(勝野課長補佐)

エコ・フェスタで、藤岡さんが作られた資料で、環境部会をメインにPRしていく方向。川崎区の区民会議の取り組みを踏まえてPRしていくか。区民会議の委員としてやるのか、区民会議の委員の有志の集まりとして出ていくのか。

(金子課長)

ブースとしては、区民会議として出して、ただ、環境がメインで他の部会もこんなありますよとなると、他の部会の了解と正・副委員長にはこんなのやりますとご案内をしないと失礼にあたってしまう。

一活動団体ではなくて、区民会議自体が、審議会なので。

(藤岡委員)

展示内容としては、他の2つの部会の方に手伝ってもらうことはなくて、ただ区民会議とは何かというところに3期の区民会議ではというところで簡単に触れるので。すごく短い文章になるので、これしか出来ないということでした承を頂く方向になると思います

(木島部会長)

上の方に相談されて、区民会議の三役にご相談申し上げてから。

(金子課長)

幹事会が2月の下旬にあるので、その時は展示内容はこれでというご報告ですね。その前段で、やるかやらないかを決める。

(藤岡委員)

2月の下旬でも大丈夫です。当日のプログラムの出展団体の一覧は、私が作るのので、名前を入れるだけ入れておいて、抜くのは簡単なので。パネル展示の会場のレイアウト図を作るだけなので。

(金子課長)

事前にPRはしないのですか。

(藤岡委員)

そこまではしなくて、このチラシだけで、具体的にどんな団体が来るのかは、当日のお楽しみで、来た人にそこで配る。

(金子課長)

団体が沢山、こられるので人数は集まるということですね。

(藤岡委員)

必ず出展すらからには、一人は来てねとしているので。

(金子課長)

部会として参加する事は、大丈夫だと思います。

(勝野課長補佐)

3月10日の日程は、皆さん大丈夫ですか。

(鷺頭委員)

ようするに区民会議を知ってほしいのですね。

(木島部会長)

他の区は、審議するだけで終わっているところも結構あります。

(金子課長)

区民会議自体は、調査審議する場ですから。そういいながら認知してほしい。

(藤岡委員)

調査審議する人を公募する時になかなか応募が無いとどこの区も言っている。

(金子課長)

なので、筋だけはおしておきましょう。

(藤岡委員)

今回初めての事で、20日ぐらいで話がまとまるのでしたら、待ちます。

(木島部会長)

ということで、宜しいでしょうか。

(藤岡委員)

他の市民まつりみたいなものにも区民会議として参加出来るといいのですが。

(金子課長)

活動を知ってもらう為の出展ですよ。

(鷺頭委員)

こういう場所に、出てくる人は広く一般ではないと思います。

(藤岡委員)

区の中で何かイベントに出ているかもしれないけれど、審議で終わるのではなくて、外にでる区もあるよというのが、まだ誰も見せていないかなと思います。何かアクションを起こさないと。

(木島部会長)

報告書については、宜しいですね。あと何かあれば、ご連絡するという事で。

(金子課長)

本日、副区長が所要があって、出れなかったのです。今日をもって、部会の方は最後という形になりますが、又全体会議については、別途日程調整をいたします。

2年間、どうもありがとうございました。